

目次

ご利用前に

安全上のご注意	2
設置方法	4
各部の名称	5

使い方について

使いかたについて	6
お料理の手引き	9

お手入れについて

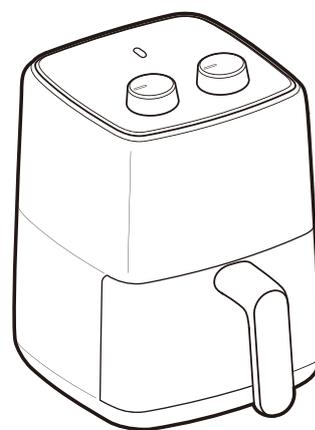
お手入れのしかた	11
----------	----

その他

故障かな?と思ったら	12
仕様	13
アフターサービス	14
保証書	15

家庭用

ノンオイルフライヤー MAF-LT01 取扱説明書



この度は、MAXZEN 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安心してお使いいただくために、ご使用になる前、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明点がある場合にご活用ください。

安全上のご注意

本製品の性能を十分に発揮させ、安全にご利用いただくためにも、「安全上のご注意」をお読みになってから、取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示の説明

 **警告** 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

 **注意** 「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

 中の絵と近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。

 中の絵と近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。

※重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 ※軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
 ※損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

警告

<p> 指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 異常・故障時にはすぐに使用を中止する。 火災・感電・けがの原因となります。 すぐに電源プラグを抜いてこの説明書記載のmaxセンターテクニカルセンターまでご連絡ください。 ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・製品にさわるとビリビリする。 ・加熱開始しない、タイマーが切れないことがある。 ・製品から煙がでたり、こげくさいにおいがする。 ・製品が破損している。 	<p> 指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取り取り除く。 ほこりが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。
<p> 分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 改造しない。修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。 ショート・感電の原因となります。 	<p> 指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 ショート・感電・発火・発煙の原因となります。
<p> 水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体を水につけたり、水をかけたりしない。水のかかる場所では使用しない。 ショート・感電の原因となります。 	<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 ショート・感電・発火の原因となります。
<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カーテンなど燃えやすい物や熱に弱い物の近くで使用しない。 火災の原因となります。 	<p> ぬれ手禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。 感電やけがの原因となります。
<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもだけで使わせたり、幼児の手が届くところで使用しない。 やけど・感電・けがの原因となります。 	<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したり、ものをのせたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。 火災・感電の原因となります。
<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交流100V以外では使用しない。コンセントの定格を超える使いかたをしない。 火災・感電の原因となります。 	<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れするときは、電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。 感電の原因となります。
<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 引火性の危険物(スプレー缶、シンナー、ガソリンなど)火気の近くで保管・使用しない。 火災・爆発の原因となります。 	<p> 指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを乳幼児が誤ってなめないように注意する。 感電やけがの原因となります。
	<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 延長コードを使用しない。 異常発熱したり、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

 <p>● 本体の上に物をのせたり、本体の下のすきまに物を入れて使わない。 変質・変形および火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● 使用中は、製品から離れない。 調理物が発火することがあります。 必ず 焼け具合を見ながら調理してください。</p> <p>指示</p>
 <p>● お手入れは冷めてから行う。 やけどの恐れがあります。</p> <p>指示</p>	 <p>● 必要以上に加熱しない。 調理物が発火することがあります。</p> <p>禁止</p>
 <p>● 使用後は必ずお手入れをする。 調理物のくずや油分が残っていると発火、発煙の恐れがあります。</p> <p>指示</p>	 <p>● 調理物が発煙・発火した場合は、すぐにタイマーつまみを「切」にし、電源プラグを抜く。 火災の原因となります。</p> <p>指示</p>
 <p>● 使用中や使用後しばらく高温部(金属部・ガラス部など)に触れない。 やけどの原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。 けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。</p> <p>プラグを抜く</p>
 <p>● 壁や家具の近くでは使用しない。 蒸気や熱で壁や家具を傷めたり変色・変形したりする原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 ショート・感電の原因となることがあります。</p> <p>指示</p>
 <p>● 調理以外の目的に使用しない。 火災や事故の原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● 不安定な場所や、畳・じゅうたん・テーブルクロスなどの熱に弱い物の上では使用しない。 火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
 <p>● 本体や取っ手に強い力をかけない。 破損の原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● 缶詰や瓶詰など、直接加熱しない。 破裂したり、赤熱してやけどをする原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>● ポット・バスケットを取り外したまま 通電をしない。 火災・やけど・発火の原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● 調理中は移動しない。持ち運ばない。 調理物がこぼれて、やけどの原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>● ポット・バスケットを直火にかけたり、電子レンジで加熱したりしない。 火災・やけど・故障の原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● 本体庫内上部のヒーターに調理物を付着させない。 火災・破損の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>● ポットおよびバスケットに容量を超える調理物をいれない。 火災・やけど・故障の原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● 長時間の調理で使用したり、調理物を必要以上に加熱しない。 発火・破損の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>● 火気や高温になるところ、直射日光のあたるところ、多湿で水のかかる恐れがあるところで使用しない。 感電・火災・故障・変形・変色の原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>● ポット、バスケットに油を入れて使用しない。 発火・破損の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>● 排気口をふさがない。 製品内部の温度が上昇して火災・故障の原因となります。</p> <p>禁止</p>	

安全上の注意(つづき)



注意

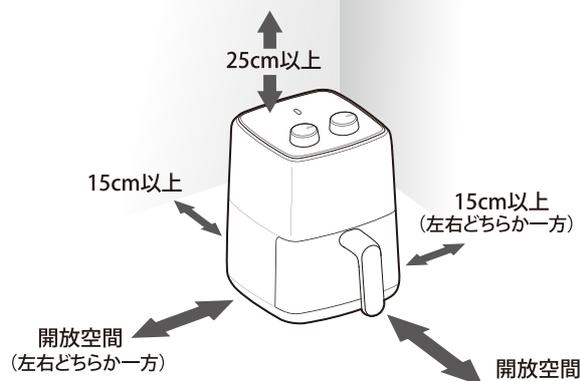
お願い

- 本製品は家庭用です。業務用などに使用しないでください。
- 製品から熱風が出ます。狭い場所や閉ざされた空間で使用しないでください。
- 長時間の連続使用はしないでください。使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードに油が飛散しないように設置してください。
- 空だきは絶対にしないでください。5分以上の予熱はしないでください。

設置方法

可燃物から下図の距離を離して設置する

- 畳、絨毯、ビニールクロス、新聞紙などの燃えやすいものの上では使用しないでください。
- 屋外で使用しないでください。
- 調理以外の目的で使用しないでください。
- 本体は周囲から適切な距離を保ってください。(下図)



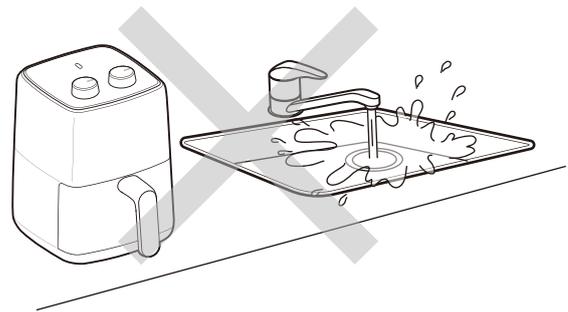
- 次のような場所で、使用しないでください。
カーテンや壁、家具などの可燃物の近く、熱に弱い敷物の上など
- 電源コードを本体の下に通したり、温度の高い金属部などに近づけないでください。

調理物が発煙・発火した場合

- 電源プラグを抜き、炎が消えるまでドアを開けないでください。ドアを開けると空気が入り、炎が大きくなり危険です。

水のかからない場所に設置する

- 庫内の熱くなったヒーターが割れることがあります。



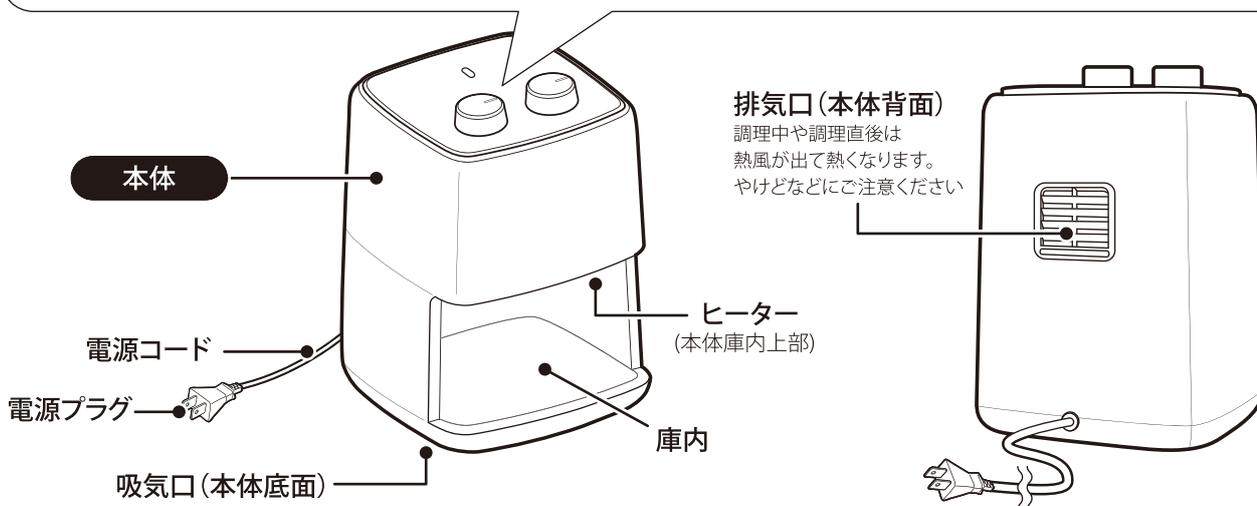
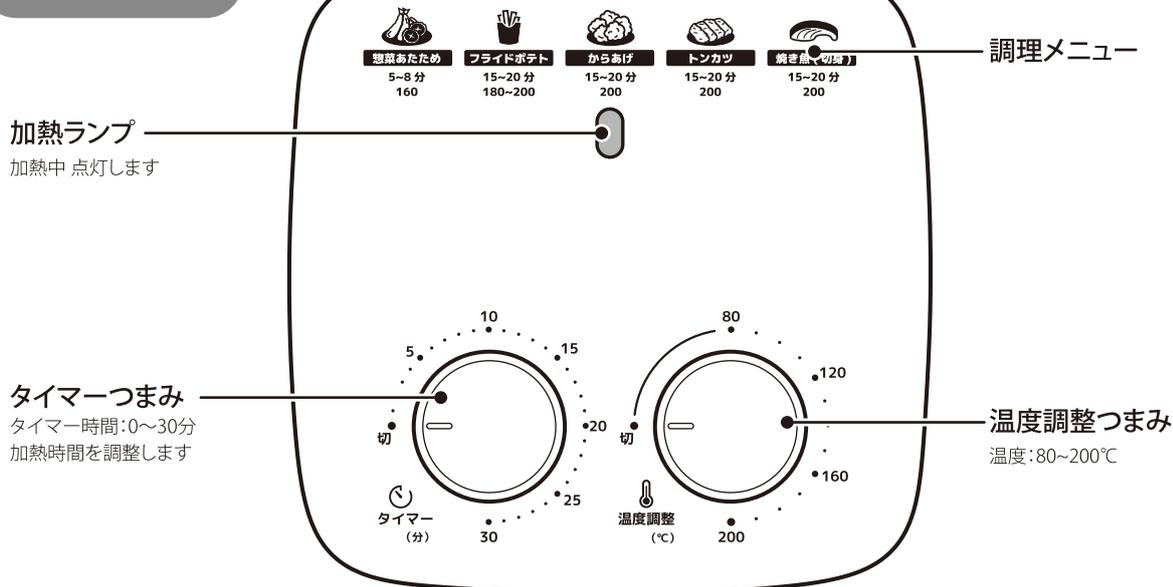
故障を防ぐために

- 空だきをしないでください。5分以上の予熱はしないでください。
- ポットに水を入れる蒸し物調理はしないでください。

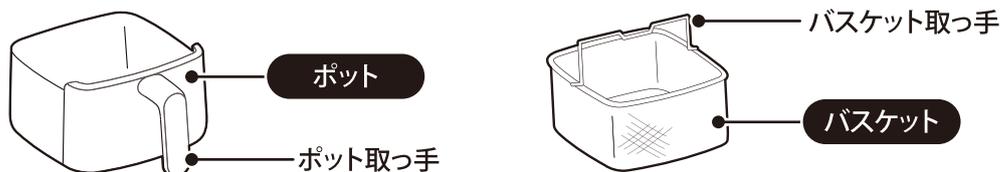
各部の名称

本体

操作パネル



付属品



温度調節機能(サーモスタット)のはたらき

庫内温度が設定した温度に到達すると、サーモスタットが働きヒーターが一時的にオフになります。庫内温度が下がると、再び通電しヒーターが温まります。このサイクルによって、ポット内部は常に設定温度を維持し、調理物を焼き上げる事が可能です。

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

使い方について

1 はじめてお使いいただく前に

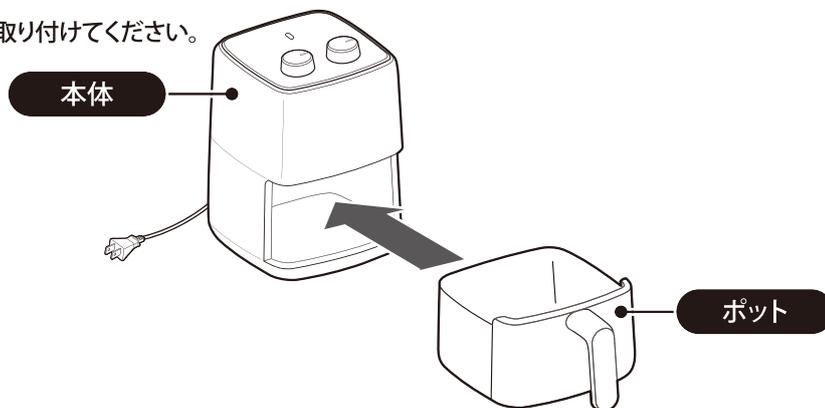
使用する前に、梱包材を取り除き、ポット、バスケットをしっかりと洗ってください。本体の外側と庫内を清潔なふきんなどで拭いてください。

2 設置する

- 4ページ「設置方法」をよく読んで、正しく設置してください。
- 使用する前に、タイマーつまみが「切」になっていることを確認してください。
- ※ 初めて使用になるときは、煙やにおいが発生することがありますが、異常ではありません。

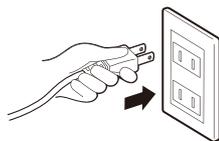
3 ポットを本体に取り付ける

- ポットは本体の奥までしっかり取り付けてください。

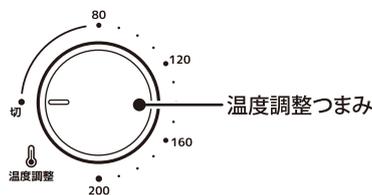


4 予熱をする

1 電源プラグをコンセントに差し込む



2 温度調整つまみで温度を設定する

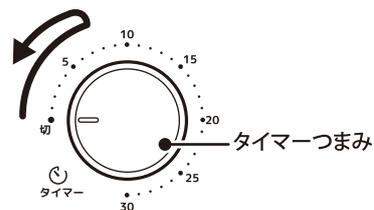


3 タイマーつまみを「5」に設定して予熱を開始する

電源が入り、加熱が始まります

1目盛1分です。

タイマーを「5」以下に設定するときは、一度「6」以上に回してから戻します。



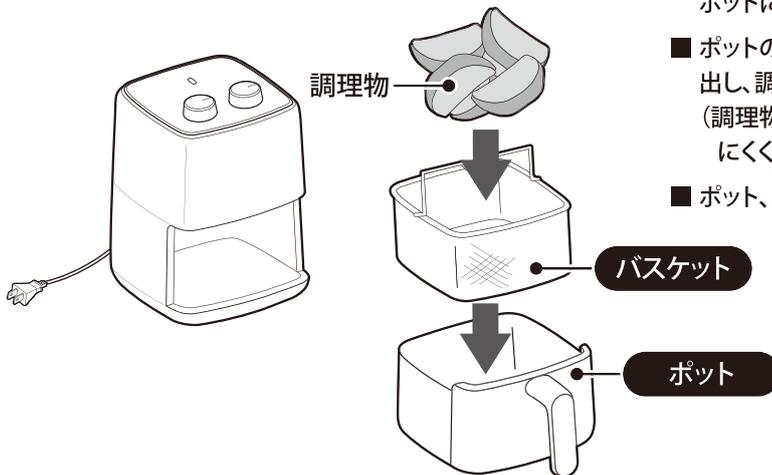
4 "チーン"と鳴ったら予熱完了

"チーン"と鳴ったあともタイマーの動く音がしますが、故障ではありません。

使い方について(つづき)

5 調理物をバスケット・ポットに入れる

予熱後、ポットとポット内側は熱くなっています。
バスケットを入れるときは、注意してください。



- バスケットを使用する場合、予熱をしている間にバスケットに調理物を入れ、予熱が終わった後、本体からポットを取り出し、ポットにバスケットを入れ、ポットを本体に取り付けてください。
- ポットのみを使用する場合、予熱が終わった後、ポットを取り出し、調理物を入れてポットを本体に取り付けてください。(調理物によっては油がたまったり、熱が均一に伝わりにくくなるのでご注意ください。)
- ポット、バスケットに油や調味料を入れないでください。

- 調理物を重ねて入れる場合、調理物の内側が均一にあたたまらない場合があります。調理物はできるかぎり空間をあけて、熱風が通るように入れてください。

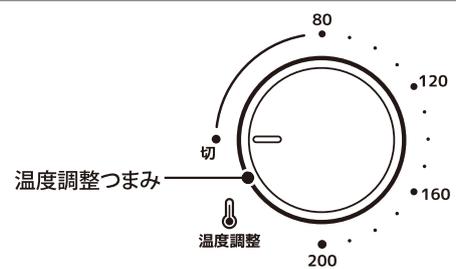


⚠ 注意

- 調理物はポットにあるMAXラインを超える量を入れない。
- ポットおよびバスケットからはみ出す量の調理物を入れない。本体の庫内上部にあるヒーターに接触して火災の原因になります。

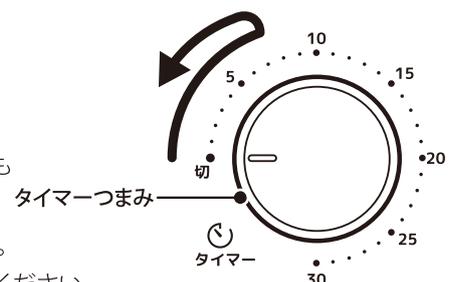
6 温度を設定する

- 温度調整つまみを回して、調理したい温度(°C)に設定してください。
- 温度は、9～10ページ「お料理の手引き」を参考にしてください。
- 途中で温度を変更したいときは、いったんタイマーつまみを「切」にしてから、再度温度を設定し、調理を開始してください。



7 タイマーを設定する

- タイマーつまみを回して、設定したい時間の目盛りにしてください。
- 調理時間は、9～10ページ「お料理の手引き」を参考にしてください。
- 30分以上の調理をする場合、タイマーが切れたあと、もう一度回して残り時間を設定し、調理を続けてください。
※続けてお使いになる場合は、製品庫内があたたまっているため、最初よりも短めの時間になります。
- 途中で調理を終了したい場合、タイマーつまみを回して「切」に戻してください。
※タイマーを「5」以下に設定するときは、一度「6」以上に回してから戻してください。

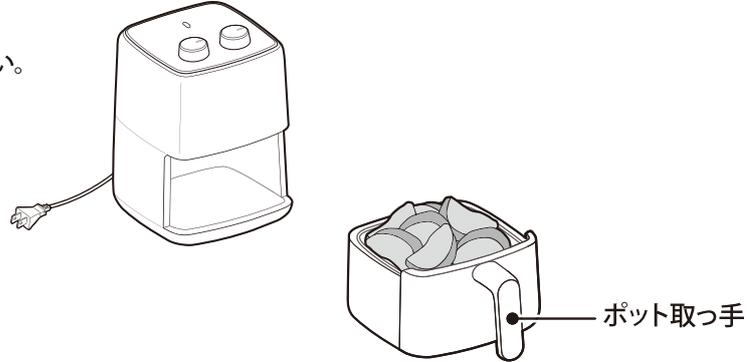


使い方について(つづき)

"チーン"と鳴って加熱ランプが消灯/タイマーつまみが「切」になったら

8 ポットを本体より取り出す

- 本体が動かないように支えながら、ポット取っ手を持って手前に引き出してください。

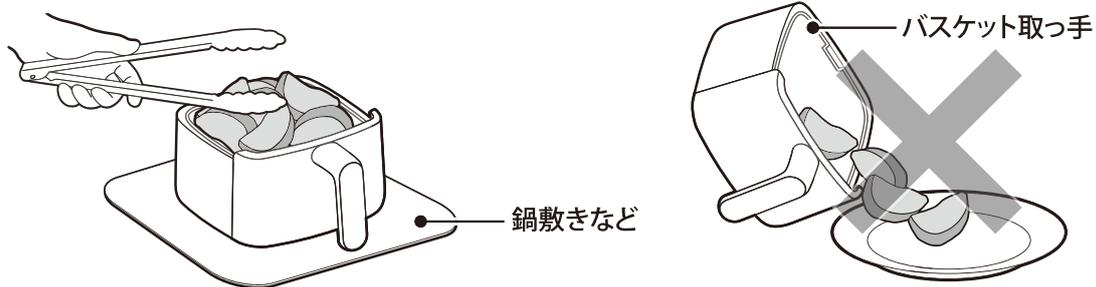


注意

- 本体からポットを取り出すときは、本体をもう片方の手でしっかり支える。庫内は非常に熱くなっているためやけどなどする恐れがあり危険です。

9 調理物を取り出す

- ポットを鍋敷きなどの上に置き、調理物をトングなどで取り出します。



注意

- ポットは熱に弱い物の上に置かない。調理終了後のポットは非常に高温になっており、変形・変色・こげの原因になります。

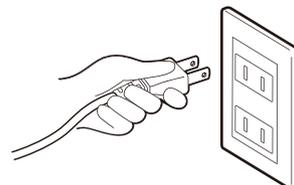


注意

- 調理物に火が通っているか確認する。加熱が足りない場合は、ポットを本体に戻し、調理物の様子をみながら加熱してください。
- ポットを傾けて調理物を取り出さない。ポットの底にたまった油が調理物にかかったり、バスケットがはずれたりします。
- バスケット取っ手は、素手で手で持たない。やけどの原因になります。ミトンなどを使って持ってください。

10 使用後は電源プラグを抜く

- タイマーつまみが「切」になっていることを必ず確認してから電源プラグを抜いてください。
- お使いのたびに、庫内についた油などを取り除いてください。(11ページ「お手入れについて」参照)



お料理の手引き

調理時間はあくまでも目安です。
焼き加減を見ながら調理してください。

- 調理時間は材料の種類、量、室温などによって異なります。下表「設定温度、調理時間(目安)」を参考に、温度調整つまみとタイマーつまみを合わせてください。必要以上に加熱すると、調理物が燃えだします。
- 続けて調理するときは、タイマーつまみを合わせても温度調節機能のはたらきにより、しばらくヒーターがつかないことがありますので、初回と調理時間が異なる場合があります。食品の状態を見ながら調理してください。

調理するコツ

■ 事前準備

調理物は均一な大きさにカットしましょう。不均一な大きさだと一部が焼きすぎたり焼き足りなかったりします。調理物から余分な水分や油を取り除くことが重要です。水分が多いと調理時間が長くなり、水っぽくなります。予熱をしっかりと、庫内の温度を均一にしてください。

■ 調理物の表面に油の塗布

表面に薄く油を塗布することで、仕上がりのカリッとした食感を得ることができます。スプレータイプのオイルスプレーを使用するか、ブラシを使って油を塗ります。少量の油でも効果的な調理が可能です。

■ 調理物の配置

調理物は重ならないように均等に配置します。重なると、均一な調理ができずに焦げたり、焼き不足になります。

■ 調理中の確認

調理中に調理物の状態を確認し、必要に応じて調理物を裏返します。焼きムラや焦げ付きを防ぐために、途中で調理物を裏返すことが重要です。

調理物	調理物の量		設定温度	調理時間 (目安)
	バスケット 使用した場合	バスケット 使用しない場合		
からあげ	250g	—	180℃	約20分
とんかつ(1口サイズ)	150g(4切れ)	—	200℃	約15分
焼き魚(切身)	140g(2切れ)	—	200℃	約15分
ステーキ(カット)	250g	—	180℃	約20分
焼き芋	200g	400g	200℃	30~40分
マフィン(4cm丸カップ)	4個	—	160℃	約20分

あたため直しのコツ

■ 油の多い調理物のあたため

あたため時に多くの油が出る調理物は、バスケットを使った調理をおすすめします。

■ 低温で長めに温める

ノンオイルフライヤーで調理物を温める際は、高温で急速に温めるのではなく、低温で長めに温めます。高温だと表面だけが焼けすぎてしまうため、低温でじっくりと温めることで中まで均一に温まります。

調理物	調理物の量		設定温度	調理時間 (目安)
	バスケット 使用した場合	バスケット 使用しない場合		
コロッケ あたため	2個	—	150℃	約7分
白身魚フライ あたため	2個	—	150℃	約7分
天ぷら(かきあげ) あたため	2個	—	150℃	約7分
フライドポテト あたため	200g	—	140℃	約5分

お料理の手引き(つづき)

冷凍食品を調理するコツ

■ 予熱をしっかりと、庫内の温度を均一にする。

冷凍食品は内部と表面の温度差が大きいです。予熱をすることで中心部までしっかり熱が伝わります。

■ 調理物を均一に並べる。

熱風が調理物全体に均等に行き渡り、熱が伝わるのでムラなく美味しく仕上がります。

■ 調理物に油をかける。

調理物を油でコーティングすることで、水分蒸発を防ぎ、ジューシーさを保ち、パサつきをおさえます。また、コーティングした部分の温度上昇が高くなり、焼き色がつき、香ばしい香りや風味になります。

お料理例	調理物の量		設定温度	調理時間 (目安)
	バスケット 使用した場合	バスケット 使用しない場合		
冷凍フライドポテト	200g	400g	180~200℃	15~25分
冷凍からあげ	200g	400g	200℃	10~20分
冷凍餃子	8個	—	180℃	15~20分
冷凍えびクリームフライ	120g(3個)	—	200℃	約20分



注意

- 「お料理の手引き」に記載されている表はあくまでも目安です。
調理物の大きさや形によって、条件は異なりますので調理の仕上がりは保証できません。
- 調理物はできるだけ大きさ・厚みをそろえる。
思わぬ事故による火災やけがの原因になります。
- 身の厚い魚や肉は、切れ目を入れて調理する。
熱の通りが良くなります。
- 熱を加えると反る調理物(イカなど)は、串を通して調理する。
焼いたときヒーターに触れて発火するおそれがあります。
- ケーキやマフィンなどの膨らむ料理をつくる場合は、調理後の調理物が庫内上部にあるヒーターに触れないよう調整する。
焼いたときヒーターに触れて発火するおそれがあります。

お手入れについて

お手入れのしかた



警告

- 安全のため、電源プラグを抜いてからお手入れを行う
感電の恐れがあります。
- 本体や庫内・付属品が冷めてからお手入れを行う
やけどの恐れがあります。



注意

- お手入れの際に、揮発性のものは使わない
シンナー・ベンジン・金属たわし・みがき粉・漂白剤や酸性洗剤などは
傷や変形・変色の原因となりますので使用しないでください。
※化学ぞうきんの使用は、その注意書きにしたがってください。



■ 本体 (外側・庫内)

やわらかい布で から拭きをする

汚れがひどいときは、ぬるま湯または食器用洗剤 (中性) を布に含ませ拭き取ってください。食器用洗剤 (中性) を使用する場合は、かたく絞ったぬれふきんで拭き取り、洗剤が残らないように、乾いた布で二度拭きをしてください。
庫内に残った油分は必ず拭き取ってから使用してください。
本体は水洗いできません。絶対におやめください。

■ ポット

やわらかいスポンジで洗ってから 拭き取る

食器用洗剤 (中性) を含ませたやわらかいスポンジで洗ってください。水でよくすすいだから、乾いた布で水分を拭き取り、風通しのよい日陰で自然乾燥させてください。

■ バスケット

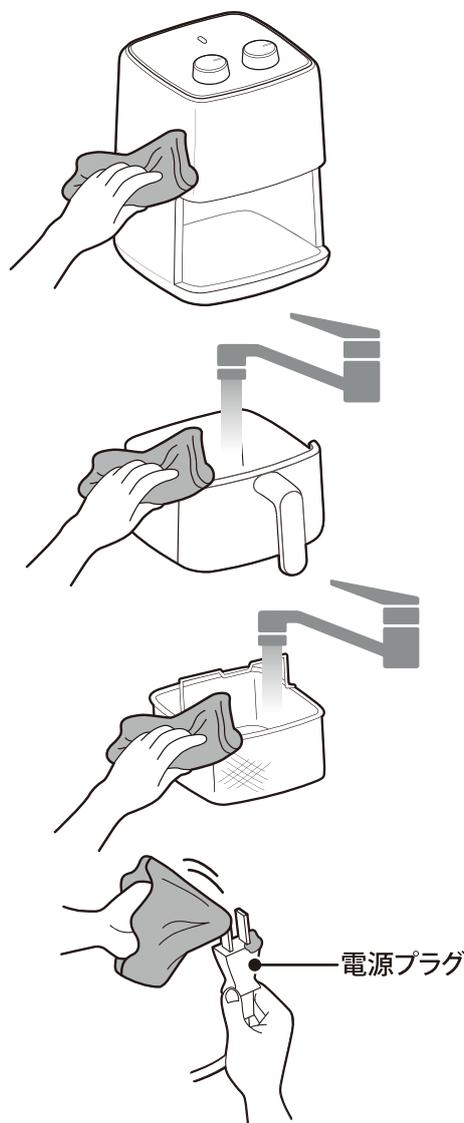
やわらかいスポンジで洗ってから 拭き取る

市販のキッチンペーパーなどで残った油分を拭き取ってください。その後、食器用洗剤 (中性) を含ませたやわらかいスポンジで洗ってください。水でよくすすいだから、乾いた布で水分を拭き取り、風通しのよい日陰で自然乾燥させてください。

■ 電源プラグ

乾いた布で拭く

乾いた布で拭き取ってください。
濡れた手で 電源プラグの抜き差しをしないでください。



お手入れ後の安全点検

- 電源コードが傷んでいませんか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容やマクスゼンホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いて各部のお手入れをし、湿気やほこりがかからない状態にしておいてください。

その他

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

症状	推測される原因	解決方法
加熱しない (動作しない)	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	電源ブレーカーが入ってない	安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れてください。
	サーモスタットが働いている (庫内の温度が高くなっている)	庫内を冷まして、時間をおいてから使用してください。
料理のできあがりが悪い	調理時間が短い	調理時間を延長してください。
	調理温度の設定が低い	調理温度を適切な温度まで上げてください。
	火が通りにくい食品を調理している	調理物に切り込みを入れる、サイズをカットして小さくするなど調理物のサイズを工夫してみてください。
	ポット内の食品の量が多すぎる	ポット内の調理物の量を減らしてください。
異臭がする	脂分の多い食品を調理している	脂分の多い食品を調理すると、食品から落ちた脂分が熱せられ煙が出ることがあります。本品や食品のできあがりに影響はありません。
	ポットやバスケットに調理くずや油が付着したままになっている	ポットやバスケットの調理くず、油を取り除いてください。8~9ページ「お手入れについて」を確認の上、適切にお手入れを実施してください。
ヒーターが途中で消える	連続で調理したり加熱し過ぎている	温度調節機能(サーモスタット)が働き、ヒーターがいつたり消えたりします。故障ではありません。設定時間、設定温度によっては、ヒーターがあまり赤くならない場合があります。
調理中や調理後に本体から音がする	「カチ」不連続音 「カチカチ」連続音	火力を調整している音もしくはタイマーが動作している音です。故障ではありません。
	「ブーン」音	熱を循環させるためのファン動作音です。故障ではありません。
	本体の熱膨張や収縮によって発生する音	本体の熱膨張や収縮により音がすることがあります。故障ではありません。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでお問い合わせください。



警告

- ご自分での分解・修理・改造はしないでください。
火災・感電・けがの原因になります。

その他(つづき)

仕様

型番	MAF-LT01
定格電圧	AC 100V
定格周波数	50Hz / 60Hz
定格消費電力	1000W
出力切替	80~200℃
タイマー時間(約)	30分
外形寸法(約)	幅205 x 奥行265 x 高さ281 mm
庫内寸法(約)	ポット：幅160 x 奥行158 x 高さ98 mm バスケット：幅135 x 奥行139 x 高さ63 mm
電源コードの長さ	1.2m
質量(約)	2.8kg

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

アフターサービス

基本的な取扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。

www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター

TEL.0570-099-455

mail : mtc@maxzen.jp

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

- お客様からご提供いただいた個人情報は修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用します。
- 利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。センドバック修理となっておりますので予めご了承ください。

部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない限り、当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
(保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください)
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用できると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品は製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。



愛情点検

長年ご使用のノンオイルフライヤーの点検をぜひ!

ご使用の際
このような症状は
ありませんか?

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 製品本体に触れるとビリビリ電気を感ずる
- その他異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため
タイマーつまみをOFFに合わせ、
電源プラグを抜いて、必ず
販売店にご相談ください。

ノンオイルフライヤー 保証書

製品名	ノンオイルフライヤー	<p>ご購入履歴を印刷していただき本書と一緒に保管してください</p> <p>保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります</p> <p>本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください</p>
製品型番	MAF-LT01	
保証期間	お買い上げ日より 1 年間	
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
お名前		販売店
ご住所		
電話番号		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
 上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効となりません。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品等で無料依頼ができない場合には、マクスゼンテクニカルセンターまでご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理になります。

- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・お買い上げ後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・本書の提示がない場合。
- ・本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークションで落札された商品の場合。
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地への引取修理を行う場合の送料。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This Warranty is valid only in Japan.）
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控え）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

本書に記載の内容とは異なる方法や目的で使用されますと、保証の対象外となります。
 また、生じた損害についても弊社は一切責任を負いません。

MAXZEN

- 本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。
- 本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。
 - 本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
- 本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
 - 乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター
TEL.0570-099-455

受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)
mail : mtc@maxzen.jp

Copyright ©MAXZEN. Inc ALL Rights Reserved.